

令和 3 年第 3 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

5 月 2 5 日（火）午前 1 0 時～	1	栗 山 尚 記 議員	（ 4 5 分）
	2	成 田 哲 男 議員	（ 3 0 分）
	3	笹 本 真 司 議員	（ 3 0 分）
5 月 2 7 日（木）午前 1 0 時～	4	館 花 一 仁 議員	（ 4 5 分）
	5	金 澤 大 輔 議員	（ 3 0 分）
	6	児 玉 悦 朗 議員	（ 3 0 分）

□質問時間割当表

10:00	10:45	10:55	11:25	11:55	
5 月 2 5 日 （火）	栗山尚記 （45 分）	休憩 10 分 間	成田哲男 （30 分）	笹本真司 （30 分）	

10:00	10:45	10:55	11:25	11:55	
5 月 2 7 日 （木）	館花一仁 （45 分）	休憩 10 分 間	金澤大輔 （30 分）	児玉悦朗 （30 分）	

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種について					
(1) ワクチン接種スケジュール及び進捗状況について			① 感染拡大防止に対し、現状最も有効的な対策はワクチン接種を早急に進めていくことだが、鹿角市の接種スケジュールについて現段階での計画を伺う。併せて、市の接種スケジュールに対して国からのワクチン供給計画量は十分に足りているものなのか伺う。		
(2) ワクチン接種現場での打ち手や問診に係る医療スタッフや会場運営等に係るスタッフについて			① ワクチン接種を計画のとおりにより早急に進めるためには、ワクチン供給量といった外的要因と内的要因の一つとして現場での人員確保が不可欠である。打ち手や問診などを担う医療スタッフの確保や、さらにスムーズな運営を行うためには、会場運営サポート役等のスタッフの確保も必須条件だと思う。通常の医療行為と並行しながらのワクチン接種に対し、マンパワー不足は生じていないか。また、不足した場合の人員確保は計画的に即急に行う必要があると思うがこれらについて伺う。		
(3) ワクチン接種の予約受付業務について			① ワクチン接種予約に関し、全国的に多くのトラブルが報告されている。「電話が繋がらない」、「ネット予約が困難」等、多くの事例が発生しているが、自治体独自の対応策の中には、トラブル回避の成功例、さらにはワクチン接種のスピードアップにまでつながっている事例が見られる。鹿角市においても、市民がより分かりやすく、スムーズな予約体制の運営対応が望まれていると思うが、現状と今後の計画について伺う。加えて、現状での予約キャンセルが発生した場合の対応ルールについても伺う。		
(4) 接種率の目標設定について			① 新型コロナウイルスは、まだまだ解明されていない点が多いウイルスで、感染症の流行を抑えこめる「集団免疫」を獲得できうる数値は、WHOの発表ではワクチン接種率 70 パーセント以上になる必要があるとしているが、市としての目標数値はあるのか。それとも、できる限り多くの接種を速やかに進めることを目標としているのか伺う。		

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
2	(5) ワクチン接種をスムーズに進めるための市民に対してのサポートについて		① ワクチン接種を確実にスムーズに進めるためには、接種現場や予約業務以外にも、多様な市民へのサポートが必要と考える。例えば、接種場所への移動支援、移動困難者への訪問接種、企業への接種休暇の奨励、接種に対し消極的・否定的な方々への接種の推奨等、いろいろな策があると思うが、これらに対する考えを伺う。		
	ウィズコロナ・アフターコロナでの経済対策について				
	(1) ウィズコロナ下における経済対策について		① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、業種によっては1年以上にも及ぶ長い期間苦境に立たされ、存続の限界にすら追い込まれている企業がある。国・県・市の支援策により、ある程度は救済されている企業もあるが、そのダメージはさらに幅広い分野や業種により深く広がってきている。さらにきめ細やかで幅広い救済施策を求める多くの声に応える必要があると思うが、考えを伺う。		
3	(2) アフターコロナに向けた経済対策について		① コロナ収束後に向け、あらゆる分野で世界は大きく変化してきている。その流れの中、重要な経済対策と言える鹿角観光の売り込み策として「世界遺産のまち」の活用は、鹿角の活性化に向けた他地域には真似のできないアドバンテージを活かせる重要なポイントだと考える。既存の世界遺産である「大日堂舞楽」「花輪ばやし」のコロナ禍の中での維持への支援、「毛馬内盆踊り」「史跡尾去沢鉱山」の指定へ向けての維持・支援。特に、間もなく指定を迎えるであろう「大湯環状列石」への市民一体となった積極果敢な盛り上げ策や指定後の有効活用は、コロナ不況を払拭するための大きな起爆剤に成り得ると思う。これらを戦略的に確実に進めていく必要があると思うが、考えを伺う。		
	教育環境について				
	(1) 学校現場での新型コロナウイルス感染予防・指導について		① 子供たちの間では、感染しにくく感染しても無症状に終わる事が多いと言われてきた感染症だが、変異株の広がりにより学校内でのクラスターが発生するなど状況が変わってきた。現状、ワクチン接種ができない世代にある子供たちに対し、今一度、マスク着用・手洗い・うがいといった感染予防の基本的ルールの再確認や指導が必要と思うが、考えを伺う。		

令和３年第３回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2)学校統合によって生じた負担の軽減について			① 学校統合により子供たちや保護者に対し様々な負担が生じている。特に学校が遠くなったことによって起きた負担に対する不満の声が多く聞かれる。通学の負担を減らすべくスクールバスのルート変更や延伸を行うことや通学費負担のさらなる軽減をするべきと考えるが、考えを伺う。さらには、学校が遠方になったが故に利用に至った放課後児童クラブ利用料の軽減もするべきと思うが、併せて伺う。		
(3) G I G Aスクール構想について			① 学校 I C T環境の整備を目的とした「G I G Aスクール構想」においては、鹿角地域でもハード面の導入は着実に進んでいるが、ソフト面である活用度合いや運用に関しては、自治体や学校間において大きな格差が生まれることが懸念される。教職員のスキルアップや運用面でのトラブル回避、ネットの特性を生かした遠隔地からの直接指導など、膨大な対応が要求されるが、現状の学校運営体制のままで全ての業務を負わせるには限界がある。現場の負担軽減や I C Tの有効活用を図るためには民間の力を取り入れることが必要と考えるが、現状と今後の計画について伺う。		

令和３年第３回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	中心市街地空き家リセット・利活用事業について			① コンパクトなまちづくりとして、中心市街地へ居住してもらうために今年度制度の検討とあるが、どのような内容になるのか伺う。	
2	I C T活用教育事業について			① 校内L A Nや1人1台のタブレット端末の整備がされた。使用状況について伺う。 ② 自宅や家庭以外での学習のため、持ち帰ることは可能になるのか。また、可能な場合、通信環境が整っていない場合の対応について伺う。 ③ 端末の使用において、児童生徒への指導やルールの設定について伺う。 ④ 保護者や地域の理解を得ながら進めていくものといわれているが、保護者等との連携はどのようにするのか伺う。 ⑤ タブレットの使用による、児童生徒の健康面への影響を考慮する対策はどのように検討されているか伺う。	
3	ホストタウン推進事業について			① 6月8日、9日に本市で東京 2020 オリンピック聖火リレーが予定されている。コロナ感染対策を取る中で、どのような内容で実施するか伺う。	
4	新型コロナウイルスワクチン接種について			① 4月19日から接種が開始されているが、接種券が送付されてもうっかりしている場合、また、当初希望をせず予約しなかった場合、どのような対応になるのか伺う。	
5	学校運営協議会について			① 今年度からの事業として協議会が設置されたが、どのような役割となるのか伺う。 ② 昨年度までの学校評議員からの意見などはどのように生かしていくのか伺う。	

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1 鹿角市の医療体制について (1) かづの厚生病院の精神科常勤医師 1 名退任に伴う今後の体制について				① かづの厚生病院では2006年4月1日より、精神科の常勤医が0になった。その後、熱心な市民の活動により秋田県・鹿角市・小坂町・かづの厚生病院も連名として加わった「医師を求めるチラシ」を全国に置くなどしたことの努力が実り、2018年に2名の常勤医を迎えることができ、現在に至っている。 しかし、既に公表されているとおり、そのうち1名の医師は6月で退任するため今後は常勤医1名となる。今回退任される医師には既に受け持ちの患者さんがおりその方々に対するケア、また残る1名の方が将来退任することになれば再び常勤医師の空白が生じることが懸念される。この状況に対して、かつて常勤医復活のため市民が立ち上がったこと、鹿角市も一緒に後押しした経緯も踏まえ、市としては現状にどのような認識を持ちどうあるべきと考えるか。また、どのような対策を取る考えか伺う。		
2 教育の I C T について (1) タブレットの活用状況について				① 今年度から全ての市内小中学校にタブレット端末の配付が完了した。現場において有効に使用していくには、教育者側も生徒側も手探りの状況とは思いますが、現時点での小学校・中学校それぞれの最終的なタブレット端末の活用ビジョンを伺う。		
(2) 人材の確保について				① I C T 教育において人材の確保は非常に重要な要素である。令和2年度鹿角市総合教育会議会議録中に、状況が厳しい観光部門との絡みで、国の補助を使った航空会社社員の派遣の検討とあるが、人材確保の現状はどのような状況であるか伺う。		
(3) 多面的な課題解決について				① I T 活用はあくまで手段に過ぎないことや、縦割り業務の弊害、限られた財務状況を考えると、例えば外国人教員を英会話教育と英語の I C T 支援に、もしくは移住コンシェルジュに I C T 支援してもらいなどマルチで関わってもらい方式や、I T に慣れ親しんで育った市内の若手人材に出向や派遣、非常勤採用の形で支援員として入ってもらいことで、人件費の抑制や異なる視点が加わることによる相乗効果、市民に教育への関心を持ってもらいきっかけの提供など、I C T 教育を単体で考えず、オール鹿角で多面的な視点に立った課題解決のアプローチを図ってはどうか。		

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(4) 家庭でのWi-Fi環境整備について			① タブレット端末の有効利用においては、家庭学習との連続性が重要になる。また今後、教室での授業ができない状況下でも、オンラインでの授業を行うことで、教育の質を確保し、子供たちの心身への影響を最低限に抑える必要がある。そもそも、現時点では全ての生徒の世帯でWi-Fiが使用できない状況であり、この格差を埋めるため、秋田県内の自治体でも、貸出用Wi-Fiを用意するなど、自宅での活用に向けた取組みをしているところがあるが、市としての考えを伺う。		
3 コロナのワクチン接種実行計画について					
(1) 各フェーズでのボトルネックへの対応について			① 新型コロナウイルスワクチンの配布が始まり、鹿角市でも医療従事者や高齢者から接種が始まっている。このワクチン接種では、高い接種率の早期実現が重要になると考える。そして、ワクチン接種が進むにつれてボトルネックとなる要因は変化していく。 I ワクチンの確保数・・・行政側要因 II 接種体制（予約受付・接種能力）・・・行政側要因 III 接種率の伸び悩み・・・市民側要因 ＝忙しい・不要・面倒くさい（特に現役世代） ＝移動が大変（特に高齢者） ＝副作用に対する拒否反応・過剰反応 ＝付随して半端になることによるワクチンロス最小化 特に、現役世代は一番移動・接触機会が多く、現役世代の接種率をいち早く高めることが、コロナ禍からの回復に向けて、他自治体との競争においても重要になると考える。現状ではボトルネックはIからIIに移行中と考えるが、上記I～IIIそれぞれにおける市の対応を伺う。		
(2) 市長・副市長や職員の接種優先度について			① 市長・副市長や市役所職員（全員でなくても良いとは思う）のような市政全般やコロナ対策を司る者は、肝心なときにコロナ感染によって業務遂行ができなくなる、もしくは遂行能力が下がってしまうリスクを考えると、接種優先度が高いと考える。医療従事者と同様に優先的に接種するのが合理的と考えるがどうか。		

令和３年第３回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	3	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(3) 具体的な目標の設定について			① ワクチンが国から十分に供給されるという前提の元、見込まれるボトルネック対策を先手で打つことにより、接種スピード県内ナンバー1を目指してはいかがか。		
4 感動！鹿角パークホテルについて			① この度、感動！鹿角パークホテルが４月３０日にグランドオープンを果たし、一層の賑わい醸成に寄与することを切に願う。このホテル再生については、民間会社である以上、当然細かい経営には関与すべきでないを考える。 一方で、この再生案件に対する市民の関心は高く、中心市街地中核ホテル再生支援事業補助金が充てられており、公共性が高い事業である以上、市としても会社の経営状況や、生み出されている経済・社会的効果の把握・評価が必要と考えるが、どのようなモニタリング・評価体制になっているか伺う。		
(1) 経営状況・経済効果のモニタリング・評価体制について					

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	館花 一仁	質問所要時間	45分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	新型コロナウイルスのワクチン接種について			① 個別接種を含んだ予約受付人数と、実際に接種を終えた方の人数について伺う。併せて、これまでに受付を開始している方のうち、希望者はどの程度の割合にあるか伺う。	
				② ワクチン接種では副反応が懸念されているところだが、市内で接種を開始してから副反応は確認されているか、また確認されている場合、その割合等について伺う。	
				③ ワクチン接種のスケジュールについて、希望者がワクチン接種を全て完了するまでの予定について伺う。	
				④ ワクチンの効果が薄い変異株への対応について伺う。	
2	行政のデジタル化推進について			① マイナンバーカードを活用した電子申請の現状と、今後どのような行政手続を追加することとしているのか、予定等について伺う。	
				② いわゆる申請や届け出に限らず、施設の利用予約などの必ずしもマイナンバーカードを必要としない業務等においても、デジタル化の一環としてスマートフォンなどを利用した手続きができるように進めることが必要と思うが、考えを伺う。	
				③ マイナンバーカードの普及促進、そして活用のために例えば印鑑登録証の機能や図書館の利用者証など市の業務等で使用する他の機能、または日常の中で使われるような機能をマイナンバーカードに付加し、活用する予定はないか伺う。	
				④ 市の関連施設を含め、窓口での手続き等においてカードを提示することで書類の記載が省略できる「書かない手続き」が可能にならないか伺う。	

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位		4	質問者	舘花 一仁	質問所要時間	45分	No.2
質 問 事 項					質 問 要 旨		
3 ドローンの活用について					⑤ 新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、市税や水道料金以外についても、キャッシュレス決済ができるようにならないか伺う。		
					① 熊の目撃情報を受けた場合の捜索時にドローンを活用できるのではないかと考えるが、検討してはどうか。また、去年と今年で何件ぐらいの目撃情報が寄せられているのか伺う。		
					② 過去に有害鳥獣が出没した場所などを、ドローンでパトロールを行うなどして情報収集に努め、未然に事故を防ぐような対応ができないか伺う。		
					③ 山菜やタケノコ採りなどで山に入り、遭難した場合の捜索にドローンの活用ができるのではないかと。市の考えを伺う。また、既にドローンを活用しているのであればその状況について伺う。併せて、ここ2～3年の遭難者の発生状況等について伺う。		
					④ 河川の増水やがけ崩れなどの災害時に、人が入ることができない危険箇所の情報・状況を把握するにはドローンでの撮影が最適と考えるが、そのような活用を考えているか伺う。		
					⑤ ドローンを活用するために、ドローンを市が保有するか民間へ委託するか、また操縦する人をどうするかなどを考える必要があるが、市の考えを伺う。		

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1 柴平小学校の登下校の安全対策について					
(1) 学校前の横断歩道について			① 非常に危険という声が上がっているが、行政としての対応はどうなっているか伺う。 ② 学校周辺に4箇所ほど横断歩道があるが、どこで渡っても危険がないよう、せめて学校側の高市の横断歩道から、村方商店の横断歩道までの区間を、速度規制などの交通規制が適応されるスクールゾーンの設定は考えられないか伺う。 ③ 地域や保護者、学校からも要望が上がっていると思うが、信号機の設置要望の声が多く届いている。そう簡単ではないことは承知しているが、この少子化の中、子供の命を守るため、強く要望していただきたいが、考えを伺う。		
(2) バスについて			① バスレーンが無いため、ちょっとした渋滞が横断歩道を塞いだり、横断歩道付近で後続車がバスを追い越そうとスピードを出したりと危険である。バスレーンの整備は検討できないか伺う。 ② 路線バスで、座席に座れず立って乗っている子供たちがいて危ないため、対応をお願いしたいという声が保護者の方々から数多く届いている。それについてどのように考えどう対処していくのか伺う。また、その区間もスクールバスで対応できないものか伺う。		
(3) 児童クラブについて			① 柴平小学校から児童クラブがある旧平元小学校までは結構な距離があり、車や熊などの危険や冬道の厳しさなどを不安視する声が保護者から多く届いている。柴平小学校だけでなく、他の学校でも近年、児童クラブが学校から遠い場所に設置されるケースが増えている。児童の安全性を高めるためにも、せめて低学年の子供たちだけでも、スクールバスもしくはファミリー・サポート・センター等を使って、児童クラブまでの送迎支援を検討できないか考えを伺う。		

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
2 企業誘致について				① まちなかオフィスに入っていた誘致企業が撤退した。今後あのスペースはどう使っていくのか。あのスペースに見合った企業の誘致を考えていくのか、現状と方向性を伺う。 ② コロナ禍において、国はリモートワーク、ワーケーションを推奨している。他市町村ではそういった働き方ができる人たちの誘致に向けて、Wi-Fiなどの環境整備やPRに力を入れている。本市としても、他に乗り遅れずに取り組むべきと考えるが、本市の状況を伺う。 ③ 企業誘致は雇用面を重視していると思うが、外貨獲得という面で考えることも必要と考える。先日テレビ番組で、「人気のある道の駅」が特集されていたが、人気のある道の駅には必ずと言っていいほど、外部の販売店がテナントで入っていて相乗効果を上げている。有名店であれば、わざわざその販売店を目的に人が集まる。このように道の駅や商店街に販売店を誘致すれば、小さな雇用と誘客の促進や外貨の獲得につながり、第7次総合計画で掲げる経営戦略に合致するものと考えているが、こういった誘致は考えられないか伺う。	
3 効率的な行財政運営について				① 人口減少による税収の減少傾向が続き、行政コスト全体の縮減を推進する必要があるということはあるが、根本の課題を改善する政策には大きな予算配分は必要と考える。本市でも未来への投資となる予算配分へと見直す時期にきているのではないかと見直しにより生み出された財源を、出産祝い金や子育て支援・少子化対策や、地元就職祝い金・Uターン支援金として、担い手確保などの就労支援に充当させれば、確実な未来への投資につながると考える。より市民のためにつながる予算配分と行財政運営を提案したいが、考えを伺う。	

令和3年第3回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	30分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の本市の交付 申請について		① 本市におけるコロナ対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が本市では上限額に達しているのか。また、今後予定している事業があるのか伺う。 ② この臨時交付金を各種データのオープンデータ化などの環境整備に活用することや、行政手続の徹底したオンライン化に活用し、市民の利便性の向上や行政の運営コストを削減したりするといった取り組みなど、柔軟な発想が求められていると思うが、本市でもこのような取り組みができないか伺う。		
2	鹿角市公共施設等総合管理計画 に基づく個別施設計画について		① 計画実施年度や評価区分、統合廃止の中で早急に行わなければならない施設があるのか伺う。統合・廃止の仕方にも考慮が必要だと思うが、廃止施設があれば廃止後の施設の管理方法も併せて伺う。		
3	空き家の実態と解消に向けた取 組内容について		① 空き家や土地について、所有者から市に寄附してもらい、市が除却した後、自治会が跡地を管理・利用するという案。また、固定資産税が滞納状況にある空き家を公売し、所有者を変更することで除却を促進する案。自治会による空き家見守りサービスへの支援（自治会振興交付金に加算する）を実施する案など、検討できないか伺う。		
4	ふるさと鹿角応援寄附について		① 提供する商品の新規開拓、開発に取り組んでいると思うが、今年度の取組方針について、特に力を入れたいことや目標を伺う。		
5	移住定住の促進と関係人口の拡 大について		① 移住し定住していただいている方の人数の推移、本市人口の増加という観点からどれくらい寄与しているのか伺う。また、関係人口についてどのように移住につなげていくのか伺う。		
6	大湯環状列石の遺跡管理につい て		① 世界遺産登録に伴い、遺跡をまたいでいる県道の移設について県の判断があると思うが、本市として提言・提案・容認など、それぞれ意思表示をするべきではないかと思うが、県に提案する考えがあるか伺う。		